

# まちの話題

## ゲレンデに歓声

### 「氷ノ山国際スノーフェスティバル」

1月23日、24日、市営氷ノ山国際スキー場で「氷ノ山国際スノーフェスティバル」が開かれました。  
同フェスティバルは30年近く前から開かれているスキー客への感謝祭で、古タイヤやチューブを転用したそりでの滑走競技のほか、但馬ビーフの焼肉や、つきたてのもちを振る舞つイベントなどがあり、ゲレンデは家族連れでにぎわいました。  
そり大会では、丸いチューブの上に腹ばいになり、全長約100メートルの斜面を滑り降りました。コースの外からは、歓声や「足を上げて」などの滑り方を指示する声も聞かれ、観衆も盛り上がっていました。  
但馬ビーフの焼肉は400人分、もちは約250人分用意されましたが、すくになくなる盛況ぶりでした。

## 鬼を追い出し無病息災を願う

燃えさかるたいまつで、鬼が持つ木箱をたたきつけて、無病息災を祈願する「まいそう祭り」が、1月14日の夜、大屋町宮本の御井神社で奉納されました。  
このまつりは、宮本がまだ海の底だったころ、神様の乗った船のうち1艘が見あたらなくなつたのを、村の人たちがたいまつを火をかざして「もう1艘ない」と探したのが起源とされています。



木箱にたいまつをぶつける氏子ら

神主が御神火を氏子らのたいまつに移すと、境内に炎の円陣が浮かび上がりました。「まあーいそーうない」とはやすなか、木箱にたいまつをぶつけ、1年の無病息災を祈願していました。



チューブそりで滑走する選手

## 無病息災、豊作を祈願「お綱うち」

1月9日、古くから伝わる伝統行事の「別宮のお綱うち」が行われました。  
同日の朝、区の人たちが集まり、大きな掛け声と共に3本の太いわらをねじりながら回り、太さ約30センチ、長さ約18メートルという巨大な綱を作り上げました。  
その後、神事が行われ、お綱は、お綱屋敷と呼ばれるところまで運ばれ、上組と下組に分かれ7回綱を引き合い、上組が勝つとその年は豊作と言われています。「よいしよ〜」の威勢の良い掛け声が村中に響き渡り、4対3で見事上組の勝利となりました。

綱引きの後は、お綱をカンザキ岡まで運び、巨大なケヤキの木に飾り付け、ケヤキの木の前で「ウオー」と声をあげ1年の無病息災と豊作を祈願しました。



かけ声を合わせて綱を打つ地区の人たち

# 養父市イメージキャラクター決定 名前は「やっぷー」です

養父市をアピールするイメージキャラクターが決まり、2月3日発表しました。

全国的なゆるキャラブームの中で、養父市には代表するキャラクターがなかったため、昨年12月から養父市とやぶ市観光協会（一ノ本達己観光協会会長）が公募を行いました。

市内外から、235点の応募があり、1月29日に審査会が行われ、最優秀賞には養父市上箇の霜下幸世さんの作品で「やっぷー」に決まりました。

やっぷーは、自然を象徴する緑色の体で、頭のとんがりや氷ノ山、水色のマフラーは天滝、緑の手足は妙見杉を表しています。

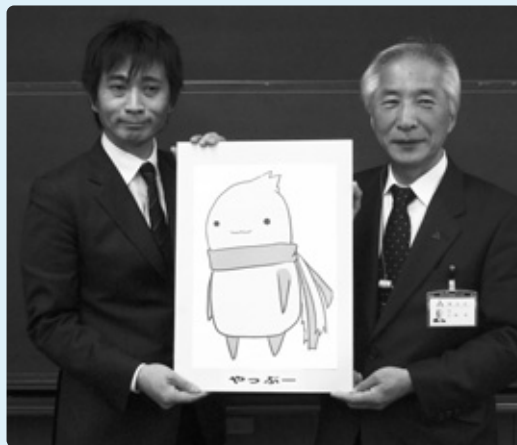
見た目のかわいらしさと、市内各地の特色を取り入れたデザインが評価されました。

やぶ市観光協会・一ノ本会長は「やっぷーを通して養父市を広く知ってもらい、一人でも多くの人に来てもらえるようにしたい」と期待を寄せています。

着ぐるみなどのお披露目は4月の予定で、市内外でのイベントなどに登場して養父市をアピールします。



イメージキャラクター「やっぷー」です



「やっぷー」のイラストをもつ一ノ本達己観光協会会長と広瀬市長

## 拝啓 市民の皆様

養父市の将来を担う市内の子どもたちに、養父市の現状と問題点、魅力などを知ってもらい、これからどのような養父市をつくれればよいか、そのためにはどのようなことを行えばよいかを一緒に考えてもらうために、今回、浅野小学校四年生への出前講座を行いました。小学生への出前講座は、私にとって初めての経験であり、養父市の状況等を上手く子どもたちに伝えることができるかどうか不安と緊張をもって教壇に立ちました。

話のポイントを、少子化・高齢化・人口減少、経済基盤が弱い、多くの魅力を持った快適で住みやすい素晴らしいまちの三点にまとめて説明しました。そして将来養父市がどのようなまちになって欲しいか、またそのためにどのようなことを行えばよいかについて意見交換をしました。

子どもたちからは「にぎやかなまち」、「笑顔いっぱい」、「明るいまち」などの考えと、「多くの観光客が来るようにする」、「若い人が住めるようにする」、「人口を増やす」などの提案がありました。市が実現しようとしているまちづくりの方向と同じであり、子どもたちに勇気と力をもらいました。

「みんなが大人になったとき一人でも多くの仲間が養父市に残って、人々が支え合い、家族や地域の人が安心して住める、安全で活力のある養父市をつくってください、みんなの力に期待しています」と講座を締めくくりました。養父市の将来を担う子どもたちへ期待する私の思いが伝わった有意義な出前講座となりました。

市長 広瀬 栄